

和の暮らしで快適に ー暑い季節と日本の生活ー

6年家庭科・国際理解教育 6月 4時間 附属新潟小学校 教諭 尾形 美穂

1 本単元で目指す姿

日本の生活文化のよさを基に暑い季節を快適に過ごす生活の仕方を考え、実践しようとする子どもの姿

具体的には、日本の生活文化に着目し、自分の生活と関連付けて考えるという「見方・考え方」を働かせ、生活の問題点について多角的にとらえ、解決策を構想する力という資質・能力を発揮して「冷房器具がなくても「風通しをよくすること」「直射日光を遮ること」「室温や体感温度を下げること」という暑い季節を過ごすために必要なことを日本に昔から受け継がれている生活の仕方ですぐに工夫できた。そして、それらの工夫は今でも様々なところで生かされている。自分の生活にも「風通し」をよくして「風鈴」を取り入れていきたいと思った」などと課題解決した姿。

2 本単元で育成する資質・能力、そのために子どもが働かせる「見方・考え方」

		「見方・考え方」		
家庭科	○ 日本の生活文化に着目し、自分や家族の生活と関連付けて考える			
	①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③態度	
	○衣食住生活に関する知識・技能 ・住まいの働きと季節の変化に合わせた住まいに関する知識・技能	○生活の問題点について多角的にとらえ、解決策を構想する力 ○実習や実験・観察の結果等について考察したことを表現する力	○日常生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度	
国際理解	「見方・考え方」			
	○ 他の国の文化の背景にある歴史や風土などに着目し、自国の文化と比較して考える			
	①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③態度	
	○多様な文化の生活・習慣・価値観などに関する知識・理解	○多様な文化の特色やその背景にある歴史や風土などの相互の関連を多角的に考える力	○多様な文化の生活・習慣・価値観などの相互の相違点を尊重し合う態度	

3 単元の計画

時	○学習活動	◆働き掛け	★資質・能力	評価する対象	
			・予想される子どもの反応	◎評価	
一次	1	○ 日本と他国の住まい方について特徴をとらえる。 ○ 日本の気候と似ている他国の住まい方を比べる。	◆ 日本と他国の住まい方が分かる資料を提示し、気が付いたことを問う。 ※ 社会科の歴史の学習の書院造りを提示する。 ※ 班で話し合わせる。 ※ 話し合ったことをまとめることができるワークシートかツールを用意しておく。 ◆ 日本の気候と似ている他国の住まい方を採り上げ、思ったことを問う。 ※ 日本と同じ温暖湿潤気候の中国・オーストラリア（シドニー）などを採り上げる。	★国際理解 ①それぞれの国で住まい方が違うね。 ①日本家屋って書院造りが今も残されているね。 ①日本は「よしず」「すだれ」「風鈴」「打ち水」など工夫が多いね。 ②住まい方が違うのは、その国の気候や地形などに合わせた人々の工夫なんだね。 ☆日本の住まいって他の国と見た目がかなり違う。しかも日本ならではのものがたくさんあるね。	◎発言、記述 ②住まい方が違うのは、その国の気候や地形などに合わせた人々の工夫なんだね。 ☆日本ならではのものがたくさんあるね。（日本の生活文化の特色に着目しているような発言。）
二次	2	○ 自分たちの生活の仕方と日本の暑さを快適に過ごす工夫が分かる資料を見て比較する。	◆ 自分たちの生活の仕方と日本の暑さを快適に過ごす工夫が分かる資料を提示し、生活経験を問う。 【働き掛け1】 ※ 冷房器具、駅前でのミストなどの写真と「すだれ」「よしず」「打ち水」「風鈴」などの写真を提示する。 ※ ツールを用意する。	★家庭科① ・家にはないよね。冷房器具があるし必要ないでしょう。 ・祖母の家で見たことがあるような。 ①「よしず」「すだれ」は、カーテンの代わりだよ。直射日光を遮るよね。 ①冷房器具も設定温度とかで工夫すればいいのに。 冷房器具を上手に使いえば快適なのに、日本ならではのものって本当に涼しくなるのだろうか。	◎発言、発話 ①「よしず」や「すだれ」は、カーテンの代わりで直射日光を遮る。 ①冷房器具も設定温度とかで工夫すればいいのに。
	3	○ 打ち水を試してみる。	◆ 暑い季節を快適に過ごすための昔から伝わる日本の生活文化を1つ試す場を設定する。 【働き掛け2】 ※ 「打ち水」を試す。 ◆ 冷房器具のない教室を涼しくできないかと提案する。	★家庭科③ ③やっぱり、日本には、日本に合った生活文化がある。 ③日本の生活文化は「風通しをよくすること」「直射日光を遮ること」「室温や体感温度を下げること」の工夫があるし、自分たちにもできそうだ。 【目的設定】 日本の生活文化を取り入れて、自分たちで教室を涼しくする方法を考えてやってみよう。	◎発言、発話、記述 ②やっぱり、日本には、日本に合った生活文化がある。 ②日本の生活文化は「風通し」「直射日光を遮る」「室温・体感温度を下げる」の工夫があるし、自分たちにもできそうだ。
	3	○ 検証方法を考え、「よしず」「すだれ」「風鈴」「打ち水」を試す。	◆ 目的を達成するための場を設定し、検証方法を問う。 【働き掛け3】 ※ 検証方法を記入できるワークシートを用意しておく。	★家庭科②・ツール活用能力・協働性 「風通し」「直射日光を遮る」「室温・体感温度を下げる」でそれぞれの検証方法を考えて、実際にやってみよう。 【「風通しをよくすること」の試しの活動と検証方法】 ②風鈴がなれば風通しがよくなったということだよ。 【「直射日光を遮ること」の試しの活動と検証方法】 ②「すだれ」をベランダ側の窓に設置しよう。電気を消すとどうなるか。 【「室温や体感温度を下げること」の試しの活動と検証方法】 ②「打ち水」をベランダにすると、教室の室温は下がるのか。	◎発言、挙手 ②窓の開け方を工夫しよう。風鈴がなれば風通しがよくなったということだよ。 ②「すだれ」をベランダ側の窓に設置しよう。電気を消すとどうなるか。 ②「打ち水」をベランダにすると、教室の室温は下がるのか。
	4	○ 温度計で室温を測定したり、感じたことをワークシートに記入したりして解決策を検証する。	◆ 解決策を実際に検証する場を設定する。 【働き掛け4】 ※ 検証できるように温度計ややってみて感じたことなどを記入できるワークシートなど用意しておく。	★家庭科②③ 【「風通しをよくすること」の検証】 ②風通しが良く「風鈴」が鳴った。風が通ると涼しく感じる。 【「直射日光を遮ること」の検証】 ②「よしず」や「すだれ」は、ほどよい光を取り入れ、直射日光を遮ることができる。 【「室温や体感温度を下げること」の検証】 ②打ち水をするとという行動も涼しさを感じた。 ②実際に、周辺の気温が0℃に下がったから、効果があるね。 冷房器具がなくても「風通しをよくすること」「直射日光を遮ること」「室温や体感温度を下げること」という暑い季節を過ごすために必要なことを日本に昔から受け継がれていることで工夫できた。そして、それらの工夫は今でも様々なところで生かされている。自分の生活にも「風通し」をよくして「風鈴」を取り入れていきたいと思った。	◎発言、発話、記述 ②実際に室温も下がったし風通しも良くなったから前の教室より快適になった。冷房器具がなくても、日本の暑い季節を快適過ごす工夫はできる。
	○ 学習を振り返り、ワークシートに記述する。	◆ 目的達成や課題解決した過程を振り返らせ次の学習に生かせると思うことを問う。 【働き掛け5】 ※ 学習の一連の流れを確認し、記述できるワークシートを用意する。	異文化と日本の文化を比べたりすることで今の生活の仕方を工夫できるヒントが見つかる。そして、実際に実習や観察・実験することで、本当にその工夫がいいのかどうか確かめることができる。		